

看護ゼミにゅーす 9月号

2013年9月20日 看護ゼミ報告（ゼミ委員会 9/24 発行）



演題「取りきれない苦痛と闘うS氏の『痛み0』を目指して」5西病棟 平さん

がんとともに生きてきたS氏。何をするにも痛みが伴い、気を抜けるときは1日のわずかしかなない。足浴を楽しみにしていることから毎日足浴を実施。薬による除痛だけでなく身体的精神的援助により「痛み0」を目指しました。患者さんの心の葛藤や変化、スタッフ個々の思いと情報の共有の難しさ、チームとしてカンファレンスの重要性を感じる事例でした。

演題「『死にたい』から徐々に生きる希望を取り戻したA氏からの学び～参加型看護計画を通して～」5東病棟 川村さん

病状悪化により意識が戻った時には全身が動かない身体になっていたA氏。（人工呼吸器がついていたため口パクで）死にたいと訴えていたA氏の話の傾聴する中で「風呂に入りたい」という願いを聞くことができました。一緒に計画を立て、洗髪や足浴を実施する中で「エステみたいだ」と笑顔。その次は「ご飯が食べたい」と…。患者さんとともに看護計画が進化、発展していく様子が伝わる事例でした。



学習「栄養管理は体重から ～身体計測について～」伊藤さんとリハビリ室の皆さん



NST では身長・体重の測定を呼びかけていますが、なかなか進んでいない現状です。今回はなぜ身体計測が重要なのかということと、予測値の測り方をレクチャーしていただきました。また実際モデルを使って計測を実践。残念ながら、実測値と予測値の差はわかりませんでした。初めて方法を知ったという方も多く、有意義な学びになりました。身体計測 100%を目指しましょう！リハビリ室の皆さん、ありがとうございました。

参加者は 57 名 多彩で内容の濃い発表でした。参加された皆さん、お疲れさまでした。

次回の看護ゼミは 10 月 18 日です。演題発表は“3 階”“6 東”、学習は“臨床指導者研修の報告”です。みなさんの参加を、ゼミ委員一同お待ちしております。